

デザイン仕様書

■内容

「何に塗る？」 漆で仕上げるプロダクト（アイテム・デザイン）の開発

■基本コンセプト

漆は古来より伝わる天然の塗料で抗菌作用、防虫、防腐、耐水、耐熱、耐久性に優れた環境に優しい樹液である。多くの方に漆の良さを知って頂き、日本の伝統工芸の技術を活かした職人の手仕事のものづくりを次世代に残すため、「漆塗り」にこだわり、美しく上質で、質感や手触りの良さが感じられる、身近な漆のプロダクトのデザイン提案を求める。

・日常生活に漆製品を取り入れることの良さを多くの人に伝え、漆技術の伝承をはかるために、漆の良さを伝えるプロダクトを開発する。

・アクセサリーやインテリア雑貨のように身近にあり、日常に使用する漆塗りのプロダクトを開発。

・アクセサリーサイズから両手に納まる（30 c m角程度）くらいのサイズ感とする。

アイテム例：

下記に限らず、「漆にこんな使い方があったんだ！」という**自由な発想での提案**を期待する。

- ① 食器類など（食器、お重、お盆、ランチョンマット、カトラリー）
- ② アクセサリー（ネックレス、リング、ブローチ、ピアス、バングル）
- ③ 身の回りのもの（ペントレー、小物入れ、書類トレー、ドアハンドル、水栓）
- ④ オブジェ・おもちゃ（クリスマスやお正月飾り、積み木、など）

■具体的な仕様

①仕上げは漆塗：塗り方により様々な表現が可能

主に下記の技法が可能

- (1) 立て塗り：木地に下地を幾重にも塗り研ぎを重ね漆を塗る
- (2) 石目塗り：立て塗り同様の下地を施し、漆の粉を蒔き更の上から漆を塗り、研磨して仕上げる。摩擦に強く、キズが付きにくい。
- (3) 変わり塗り（重ね塗り）：立て塗り同様に塗り上げ、更に何色もの漆を塗り重ねた漆の層を丁寧に研ぎだすと塗り重ねた色が模様のように出てくる。塗り重ねる漆の色が多いほど研いで出てくる色も多くなる。
- (4) 擦り漆：木目を生かす技法で、木地に生漆を摺り込み→拭き取る→乾かす を数回繰り返す。摺り込む回数が増すほど深い色合いに仕上がる
- (5) 研ぎ出し：立て塗り同様の下地を施し、塗りあがったものを研磨し更に漆を摺り込む。塗上りは黒ずんでいるが時間が経つと表面の漆が透けて柄が出てくる。漆ならではの自然な経年変化をみることができる
- (6) 艶ありと艶消し：一般に漆は艶やかなイメージだが艶消しの塗り方もある



(1) 立て塗り



(2) 石目塗り



(3) 変わり塗り



(4) 擦り漆



(5) 研ぎ出し



経年変化(左→右)



(6) 艶あり・艶消

②着色

様々な色に対応可能（「立て塗り」画像参照）

③加飾（蒔絵、螺鈿、彫漆など）

施さない

④ 木地（本体）

木製で製作可能なもの

⑤ サイズ

持ち帰りできるサイズ

アクセサリー ～ 両手に納まるくらい（30cm 角程度）までのサイズ感

⑥ 形状の制約など

- ・深いもの、隅があるものは不可（漆を塗りにくいので）
- ・ろくろ加工が必要な器は不可
- ・組み立て式は塗りやすくベター
- ・反復生産可能なもの

⑦ その他

紫外線に弱いため、使用環境に考慮すること

■ターゲット・販売戦略

①ターゲット

- ・若い世代からシニア世代まで、良質のものを求める方、工芸好きの方
- ・プレゼント、おみやげ、自分にご褒美として

②販路

- ・まずは展示会（年4回）と自社ショールームで直販
- ・八女市ふるさと納税返礼品への登録

③販売価格の目安

- ・特に設定しないが、高額過ぎないもの

（参考）現在販売中のアクセサリ：約 7,000～50,000 円程度

■デザインに対する考え方とデザイン事業者への要望

当社は、国指定伝統工芸品「八女福島仏壇」、漆塗箔押部門をはじめ、寺院仏具内陣漆塗修復工事や、無形文化遺産の「唐津くんち」で巡行される巨大な曳山の総塗替えや修復を手掛けている。また、年月が経った仏壇の修復や塗り替えも行う。

オーダーメイドでは、材料や形状、漆の色など要望に沿った仏壇をはじめ、硯箱や取っ手等の製作も手掛ける。また、箆笥や漆器などの修復・塗替えにも応じている。

自社製品として、現在、オリジナル仏壇やアクセサリを販売している。

【オーダー対応例】



唐津くんち曳山塗替え



オーダー仏壇



オーダー硯箱



これまで、主に個人を対象として自社のデザインのみで製品開発に取り組んできたが、外からの意見を取り入れ、既存の考えに固執せずに新たな目線で製品開発したいと考えている。

そこで、以下のような提案を求めたい。

- ・「こんなものも漆を使える！」という**意外性のある提案**
- ・販路の提案があると嬉しい

また、最終的な漆の仕上げについては、採択後の打合せにより決定したい。

【現在のオリジナル製品】



仏壇



アクセサリ



■実施スケジュール（予定）

・漆塗工程に約2カ月、木地の外注に1〜2カ月要するため、製品デザインは10月中に決定し、木地を外注し、その間に表面仕上げ（塗塗）のデザインを決定する。

9月デザイナー決定

9〜10月 製品アイテム、デザイン決定

11〜12月 木地外注、表面仕上げの詳細決定

1〜2月 漆塗

3月 完成

*漆かぶれを防ぐため、半年ほどおいて販売予定

■プロジェクト参画企業等

企業名：漆工房 岩弥

- ① 仏壇製造
- ② 漆塗りアクセサリやオーダーメイド製品の製作
- ③ 仏壇・箆笥・漆器などの塗替え・修復
- ④ 住宅の柱や床の間などの漆塗り など

URL <https://www.urushikoubou-iwaya.jp/>

